

<領域：こころとからだのしくみ>

発達と老化の理解

問題 69 A君は、積み木を飛行機に見立ててB君と遊んでいた。大人がA君とB君の目の前で、おやつジュースを一人150mlずつになるように計った。しかし、同じ大きさのコップがなかったため、それぞれ形の違うコップに入れて与えた。A君にジュースを入れたコップを渡したところ、A君は、「B君の方が量が多い」と言って泣き出した。

ピアジェ (Piaget, J.) による A 君の認知発達段階として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 形式的操作期
- 2 感覚運動期
- 3 前操作期
- 4 再接近期
- 5 具体的操作期

問題 70 プロダクティブ・エイジング(productive aging)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 バルテス(Baltes, P.)が最初に提唱した。
- 2 高齢者の経済的自立を目指した概念である。
- 3 エイジズム(ageism)による高齢者のとらえ方を肯定した概念である。
- 4 主観的幸福感とは無関係である。
- 5 プロダクティブ(productive)な活動には、セルフケア(self-care)が含まれる。

問題 71 老年期の精神疾患(mental disease)と精神症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 老年期うつ病(senile depression)は、若年者のうつ病(depression)と比べて抑うつ気分が軽い。
- 2 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)は、脳の器質的変化を伴わない。
- 3 うつ病(depression)等で自殺を試みた高齢者が死に至る率は、若年者の場合と比べて低い。
- 4 せん妄(delirium)は、夜間よりも昼間に生じやすい。
- 5 老年期に発症した統合失調症(schizophrenia)は、妄想型が少ない。

問題 72 死別直後の遺族の心理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 周囲からのサポートに関係なく、死別後の生活に適応する。
- 2 悲嘆の経験は、心身に影響を及ぼさない。
- 3 悲嘆のプロセスは、多くの人で同じように進む。
- 4 十分に悲しむことが、悲嘆を乗り越えるために有効である。
- 5 遺族への心理的ケアは、緩和ケアに含まれない。

問題 73 脱水時の状態として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 徐脈
- 2 血圧の上昇
- 3 皮膚緊張の増加
- 4 めまい
- 5 体重の増加

問題 74 <sup>じょくそう</sup>褥瘡の発生部位として、最も頻度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 大転子部
- 2 肩甲骨周辺
- 3 仙骨部
- 4 <sup>しょうぶ</sup>踵部
- 5 <sup>ちゅうかんせつ</sup>肘関節

問題 75 高齢者の肺炎(pneumonia)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日本の高齢者(65歳以上)の死因順位(2011年(平成23年))で第1位である。
- 2 インフルエンザ(influenza)に合併することはまれである。
- 3 初発症状は高熱である。
- 4 呼吸数は減少する。
- 5 誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえんaspiration pneumonia)の予防には口腔ケアこうくうが有効である。

問題 76 パーキンソン病(Parkinson disease)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 40歳代で発症することが最も多い。
- 2 突進現象が認められる。
- 3 筋肉の異常が原因である。
- 4 認知症(dementia)を合併することはまれである。
- 5 発症後5年以内に死亡することが多い。